

北海道知事 殿

〔設置者の名称〕 学校法人北海道安達学園

〔代表者の役職〕 理事長 〔代表者の氏名〕 安達 保敏

大学等における修学の支援に関する法律第 7 条第 1 項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	専門学校札幌デザイナー学院
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(大学・短期大学・高等専門学校・ 専門学校)
大学等の所在地	〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 9 丁目 3-12
学長又は校長の氏名	澁谷 俊彦
設置者の名称	学校法人北海道安達学園
設置者の主たる事務所の所在地	〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 9 丁目 3-12
設置者の代表者の氏名	安達 保敏
申請書を公表する予定のホームページアドレス	https://www.sdg.ac.jp/oati/

大学等における修学の支援に関する法律(以下「大学等修学支援法」という。)第 7 条第 1 項の確認を申請します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点(☑)を付けて下さい。

- この申請書(添付書類を含む。)の記載内容は、事実に相違ありません。
- 確認を受けた大学等は、大学等修学支援法に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。
- 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第 7 条第 2 項第 3 号及び第 4 号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	教務部・東出 圭介	011-272-2800	info@sdg.ac.jp
第2号の1	教務部・東出 圭介	011-272-2800	info@sdg.ac.jp
第2号の2	教務部・東出 圭介	011-272-2800	info@sdg.ac.jp
第2号の3	教務部・東出 圭介	011-272-2800	info@sdg.ac.jp
第2号の4	教務部・東出 圭介	011-272-2800	info@sdg.ac.jp

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点(☑)を付けた上で、これらの書類を添付してください。(設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。)

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)①学外者である理事の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事(役員)名簿

「(3)②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(4)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)【再掲】

その他

- 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

(添付書類) 経営要件を満たすことを示す資料

学校名	専門学校札幌デザイナー学院
設置者名	学校法人北海道安達学園

I 直前3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	1,211,441,660円	1,017,969,575円	193,472,085円
申請2年度前の決算	1,233,944,868円	1,029,865,964円	204,078,904円
申請3年度前の決算	1,116,885,767円	1,003,676,219円	113,209,548円

II 直前の決算の貸借対照表における「運用資産-外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	2,441,633,077円	72,062,581円	2,369,570,496円

III 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率 (F)/(E)
今年度(申請年度)	540人	144人	26%
前年度	540人	159人	29%
前々年度	580人	169人	29%

(IIの補足資料)「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	資産の内容	申請前年度の決算に おける金額
		円
		円
		円

○「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	負債の内容	申請前年度の決算に おける金額
		円
		円
		円

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校札幌デザイナー学院
設置者名	学校法人北海道安達学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	ビジュアルデザイン学科	夜・通信	824 単位時間	160 単位時間	
	インテリア学科	夜・通信	1,134 単位時間	160 単位時間	
	ファッション学科	夜・通信	1,000 単位時間	160 単位時間	
	ビジュアル・ゲームラボラトリ学科	夜・通信	442 単位時間	80 単位時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学習案内/学習指導計画として、入学時、又、進級時、各期オリエンテーション時に紙面にて配布と説明 https://www.sdg.ac.jp/oati/
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校札幌デザイナー学院
設置者名	学校法人北海道安達学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

役員名簿の閲覧申し出にて開示
<https://www.sdg.ac.jp/oati/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	前、安達事業グループ ホテル グリーンプラザチェーン 総 料理長 萬屋調理師会 役員	H29.6.15 ～ R3.6.14	法人の経営に関する重 要事項を審議する
非常勤	現 ㈱フジタカ 会長	H29.6.15 ～ R3.6.14	法人の経営に関する重 要事項を審議する
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

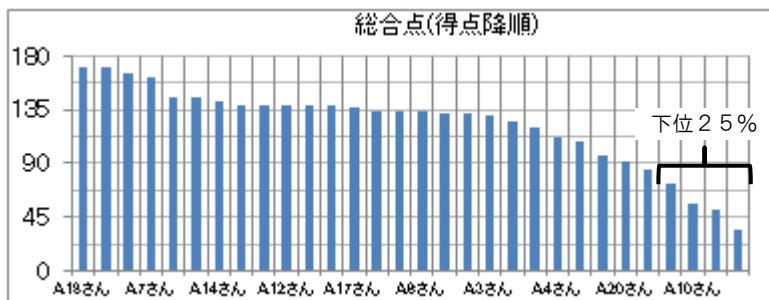
学校名	専門学校札幌デザイナー学院
設置者名	学校法人北海道安達学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>・年に1回以上の教育課程編成委員会を以下目的で実施。</p> <p>①就職実績など教育成果、②カリキュラム、③教育環境・教材など、について審議。教育効果検証の場として位置付け、社会に貢献できる人材を育成していくための継続的改善について意見交換を行う。教育編成委員会の審議結果を基に、学校担当が中心となってカリキュラムなどの見直しを行い、翌年度のカリキュラムに反映させている。</p> <p>また、上記等、授業科目等の概要については職業実践専門課程の情報公開としてHPにて公表。</p> <p>講師側は各年次、各期にて講師会や勉強会を開き、授業内容や到達目標、成績評価の基準や方法の確認、また、年間授業計画やシラバスの作成や更新を行う。</p> <p>学生には各年次、各期にてオリエンテーションを行い、学生心得、シラバスの配布、授業内容や到達目標、成績評価の基準や卒業要件等の確認説明を行う。</p>	
授業計画書の公表方法	学習案内/学習指導計画として、入学時、又、進級時、各期オリエンテーション時に紙面にて配布と説明
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>■成績評価の基準・方法：期末考査・出席率・授業態度</p> <p>各年度(1/2)、各期(前/後)に期末テスト、レポート課題を実施。また2年間の集大成として卒業制作を実施。出席日数、授業態度を平常点として加味し点数化し、各科目ごとに5段階A(100-85点)・B(84-70点)・C(69-50点)・D(再試合格)・E(0点/再試不合格)の成績評価を行う。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)
各前期、後期中に上記方法にて各科目ごとに5段階A・B・C・D・Eの成績評価を行っている。各科目各成績を点数化(A=10,B=7,C=5,D=3,E=0)し、各個人の総合成績として得点化し、成績分布の把握を行い、下位25%者の確認、成績評価方法の偏りやばらつきや難易度設定や公平性等、カリキュラムや授業編成の改訂情報として活用している。



客観的な指標の算出方法の公表方法

学習案内/学習指導計画として、入学時、又、進級時、各期オリエンテーション時に紙面にて配布と説明

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)
オリエンテーション時や各ホームルーム時に周期的に以下卒業認定基準を告知し、指導を行う。また進級時や卒業時には学内にて張り出し形式にて公表を行う。

卒業認定基準

- ・ 出席率 90%以上・単位修得率 85%以上・卒業制作の完成・学費の完納

卒業の認定に関する方針の公表方法

学習案内/学習指導計画として、入学時、又、進級時、各期オリエンテーション時に紙面にて配布と説明

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校札幌デザイナー学院
設置者名	学校法人北海道安達学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.sdg.ac.jp/oati/
収支計算書又は損益計算書	https://www.sdg.ac.jp/oati/
財産目録	https://www.sdg.ac.jp/oati/
事業報告書	https://www.sdg.ac.jp/oati/
監事による監査報告（書）	https://www.sdg.ac.jp/oati/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	専門課程	ビジュアルデザイン学科	○	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1700 単位時間 単位時間/単位	200 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	1648 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
360人	86人	2人	5人	6人	11人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）各年次、各期にて教育課程編成委員会や講師会を行い、授業内容や到達目標、成績評価の基準や方法の確認、また、年間授業計画やシラバスの作成や更新を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）各年度(1/2)、各期(前/後)に期末テスト、レポート課題を実施。また2年間の集大成として卒業論文、卒業制作を実施。出席日数、授業態度を平常点(最大15点)として加味し点数化し、各科目ごとに5段階A(100-85点)・B(84-70点)・C(69-50点)・D(再試合格)・E(0点/再試不合格)の成績評価を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）オリエンテーション時や各ホームルーム時に周期的に以下卒業認定基準を告知し、指導を行う。また進級時や卒業時には学内にて張り出し形式にて公表を行う。卒業認定基準 ・出席率90%以上・単位修得率85%以上・卒業制作の完成・学費の完納
学修支援等
（概要）経済的支援の奨学生制度（試験奨学生、チャレンジ奨学生、高校既卒者・社会人奨学生）、A0 特待生入学、縁故優遇制度、語学優遇制度、在校生表彰制度。就職支援のキャリアセンター、学習支援の購買や図書館、学生生活支援の学生食堂や学生ホール等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
51人 (100%)	3人 (5.9%)	32人 (62.7%)	16人 (31.4%)
（主な就職、業界等）株博報堂プロダクツデザインスタジオ、ダイヤモンドヘッド株式会社、クレイテプス株式会社、広告・Web・アートデザイン会社、クワトロ A、ハイフォート、フォーク北海道等			
（就職指導内容）接遇マナー演習、集団・個人面接練習、筆記試験対策、業界研究会、就職カウンセリング、履歴書の書き方指導、リクルート時の服装指導等			
（主な学修成果（資格・検定等））ビジネス能力検定 44 人合格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
101 人	13 人	12.9%
（中途退学の主な理由） 学修意欲低下、進路変更、病気療養、経済的な理由他		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による個別面談の実施、教職員同士の情報共有、カウンセリング、転専攻、転学科の実施。学科担当教員が、日頃より学生とコミュニケーションを密にする。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		専門課程	インテリア学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1700 単位時間 単位時間／単位	398 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	1450 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		31人	0人	5人	4人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）各年次、各期にて教育課程編成委員会や講師会を行い、授業内容や到達目標、成績評価の基準や方法の確認、また、年間授業計画やシラバスの作成や更新を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）各年度(1/2)、各期(前/後)に期末テスト、レポート課題を実施。また2年間の集大成として卒業論文、卒業制作を実施。出席日数、授業態度を平常点(最大15点)として加味し点数化し、各科目ごとに5段階A(100-85点)・B(84-70点)・C(69-50点)・D(再試合格)・E(0点/再試不合格)の成績評価を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）オリエンテーション時や各ホームルーム時に周期的に以下卒業認定基準を告知し、指導を行う。また進級時や卒業時には学内にて張り出し形式にて公表を行う。卒業認定基準 ・出席率90%以上・単位修得率85%以上・卒業制作の完成・学費の完納
学修支援等
（概要）経済的支援の奨学生制度（試験奨学生、チャレンジ奨学生、高校既卒者・社会人奨学生）、A0 特待生入学、縁故優遇制度、語学優遇制度、在校生表彰制度。就職支援のキャリアセンター、学習支援の購買や図書館、学生生活支援の学生食堂や学生ホール等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11人 (100%)	0人 (0.0%)	11人 (100.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) 総合設計、アートホーム、樋口、北海道美術センター等			
(就職指導内容) 接遇マナー演習、集団・個人面接練習、筆記試験対策、業界研究会、就職カウンセリング、履歴書の書き方指導、リクルート時の服装指導等			
(主な学修成果(資格・検定等)) リビングスタイリスト検定12名合格、建築CAD検定6名合格、ビジネス検定13名合格			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
29人	5人	17.2%
(中途退学の主な理由) 学修意欲低下、進路変更、病气療養他		
(中退防止・中退者支援のための取組) カウンセリング、転専攻、転学科の実施。学科担当教員が、日頃より学生とコミュニケーションを密にする。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		専門課程	ファッション学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年		1700 単位時間 単位時間／単位	334 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	1514 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		27人	1人	5人	6人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）各年次、各期にて教育課程編成委員会や講師会を行い、授業内容や到達目標、成績評価の基準や方法の確認、また、年間授業計画やシラバスの作成や更新を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）各年度(1/2)、各期(前/後)に期末テスト、レポート課題を実施。また2年間の集大成として卒業論文、卒業制作を実施。出席日数、授業態度を平常点(最大15点)として加味し点数化し、各科目ごとに5段階A(100-85点)・B(84-70点)・C(69-50点)・D(再試合格)・E(0点/再試不合格)の成績評価を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）オリエンテーション時や各ホームルーム時に周期的に以下卒業認定基準を告知し、指導を行う。また進級時や卒業時には学内にて張り出し形式にて公表を行う。卒業認定基準 ・出席率90%以上・単位修得率85%以上・卒業制作の完成・学費の完納
学修支援等
（概要）経済的支援の奨学生制度（試験奨学生、チャレンジ奨学生、高校既卒者・社会人奨学生）、A0 特待生入学、縁故優遇制度、語学優遇制度、在校生表彰制度。就職支援のキャリアセンター、学習支援の購買や図書館、学生生活支援の学生食堂や学生ホール等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14人 (100%)	0人 (0.0%)	10人 (71.4%)	4人 (28.6%)
（主な就職、業界等）上野商会、アーバンリサーチ、サマンサタバサジャパンリミテッド、スーパースーパーカー他等			
（就職指導内容）接遇マナー演習、集団・個人面接練習、筆記試験対策、業界研究会、就職カウンセリング、履歴書の書き方指導、リクルート時の服装指導等			
（主な学修成果（資格・検定等））ファッションビジネス能力検定6人合格、色彩検定6人合格、ビジネス検定12人合格			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
29人	5人	17.2%
(中途退学の主な理由) 学修意欲低下、進路変更、病气療養他		
(中退防止・中退者支援のための取組) カウンセリング、転専攻、転学科の実施。学科担当教員が、日頃より学生とコミュニケーションを密にする。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		専門課程	ビジュアル・ゲームラボ ラトリ学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	850 単位時間 単位時間／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	924 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
	単位時間／単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		3人	1人	5人	6人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）各年次、各期にて教育課程編成委員会や講師会を行い、授業内容や到達目標、成績評価の基準や方法の確認、また、年間授業計画やシラバスの作成や更新を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）各年度(1/2)、各期(前/後)に期末テスト、レポート課題を実施。また集大成として研究制作を実施。出席日数、授業態度を平常点(最大15点)として加味し点数化し、各科目ごとに5段階A(100-85点)・B(84-70点)・C(69-50点)・D(再試合格)・E(0点/再試不合格)の成績評価を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）オリエンテーション時や各ホームルーム時に周期的に以下卒業認定基準を告知し、指導を行う。また進級時や卒業時には学内にて張り出し形式にて公表を行う。卒業認定基準 ・出席率90%以上・単位修得率85%以上・研究制作の完成・学費の完納
学修支援等
（概要）経済的支援の奨学生制度（試験奨学生、チャレンジ奨学生、高校既卒者・社会人奨学生）、A0 特待生入学、縁故優遇制度、語学優遇制度、在校生表彰制度。就職支援のキャリアセンター、学習支援の購買や図書館、学生生活支援の学生食堂や学生ホール等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
1人 (100%)	1人 (100.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 接遇マナー演習、集団・個人面接練習、筆記試験対策、業界研究会、就職カウンセリング、履歴書の書き方指導、リクルート時の服装指導等			
(主な学修成果(資格・検定等))			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) カウンセリング、転専攻、転学科の実施。学科担当教員が、日頃より学生とコミュニケーションを密にする。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ビジュアルデザイン	150,000 円	730,000 円	250,000 円	
インテリア	150,000 円	730,000 円	250,000 円	
ファッション	150,000 円	590,000 円	250,000 円	
ビジュアル・ゲームラボラトリ	150,000 円	730,000 円	250,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sdg.ac.jp/top/wp-content/uploads/2019/01/H29_SDG_SelfChk_BS.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者評価委員会は学校法人北海道安達学園に位置付け、本法人の各学校に関係の深い企業等関連の方々を中心に、教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受入れ募集、財務、法令等の遵守、社会貢献・地域貢献、国際交流を評価項目として自己評価し、意見等を聞き、翌年以降の教育活動や学校運営に反映させる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
北海道デザイン協議会 会長	平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日 1 年更新	企業等委員
株式会社きしだ Studio BACU CGI チーフディレクター	平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日 1 年更新	企業等委員
北海道犬ぞり連盟 事務局長	平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日 1 年更新	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sdg.ac.jp/top/wp-content/uploads/2019/01/H29_SDG_SelfChk_BS.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sdg.ac.jp/
--